

モニタリング結果報告書 (令和2年度)

1. 施設概要

施設名	境川遊水地公園		
所在地	横浜市戸塚区俣野町・泉区下飯田町・藤沢市今田		
サイトURL	http://kanagawa-park.or.jp/sakaigawa/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(平成19年8月)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川県公園協会		
指定期間	H27.4.1 ~ R4.3.31 (2015年) (2022年)	施設所管課 (事務所)	都市公園課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
※新型コロナウイルス感染症が3項目評価(利用状況、利用者満足度、収支状況)に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。	
<p>〈評価の理由〉 コロナ禍ではあったが全体の利用者数は増加しており利用状況はS評価、利用者の満足度もS評価であった。収支差額が昨年度よりも減少しており多少影響を受けたものと思慮されるが収支状況はA評価であり、3項目評価としてもA評価となった。このことから新型コロナウイルス感染症が3項目評価に大きく影響したとまではいい難い。</p> <p>〈今後の対応〉 新型コロナウイルス感染症が収束するまでは、密状態の回避を目的に当該公園を利用する方も多数いるものと思慮されるので、引き続き公園利用者の感染防止対策の徹底を図りながら、今後も遊水地機能の保全を基本としつつ自然・スポーツ・交流をテーマに、更なる利用拡大に努めることを期待する。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <ul style="list-style-type: none">◆管理運営等の状況 提案に基づいて、自然環境の保全活用、スポーツや交流を通じた地域づくり等の事業を実施し、実績をあげた。また、遊水地として一時的に水没した有料施設の清掃・維持管理を県とともに先行、早期の利用再開に努めた。◆利用状況 利用者数が目標達成率113.3%となりA評価となった。ただ、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用制限を行った有料施設の利用者数は約29%のマイナスとなっている。◆利用者の満足度 上位2段階の回答割合が97.3%となりS評価となった。◆収支状況 収支差額は昨年度より減少しているが、収支差額はプラスで収支比率が103.54%となったため、A評価となった。◆苦情・要望等 寄せられた苦情に対しては誠実に対応した。◆事故・不祥事等 苦情・要望はいただいたが、適切な管理により事故の発生は無かった。◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。	
3項目評価	S : 極めて良好 A : 良好 B : 一部改善が必要 C : 抜本的な改善が必要
S	※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	月1回程度	
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・ 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
■遊水地機能の確保を優先に考えた管理 ○遊水地機能の確実な確保 ○河川水流入が予想される場合の利用者の安全確保 ○遊水地機能等の普及啓発	・遊水地機能を確実に確保するとともに河川水流入が予想される場合の利用者の安全確保を実施 ・遊水地機能等の普及啓発を実施 ・河川管理実務経験者を配置するとともに園内の利用制限の周知、工作物の事前撤去等を実施	—
■都市の中の豊かな自然環境の保全・活用 ○大学等との協働によりビオトープの適正な保全 ○ビオトープ管理の人材育成 ○環境学習フィールドとしての利用促進	・大学等との協働によりビオトープの適正な保全を実施。生物モニタリング調査を継続するとともにデータを蓄積し、維持管理計画へフィードバック ・専門コンサルタントやNPOへ業務委託し、管理目標や維持管理計画の見直しに着手 ・ビオトープ管理の人材育成を実施 ・環境学習フィールドとして観察会や遊水地検定などのイベントを開催 ・自然情報を発信するとともに、環境学習展示を実施	—
■利用者ニーズの開拓によるスポーツ施設の利用促進 ○健康・レクリエーション型スポーツメニューの提供 ○スポーツ施設の快適な利用環境の整備 ○新たな利用者向けの情報発信の充実	・グラウンドゴルフ教室及びパークヨガin境川遊水地公園を開催。 ・環境にやさしい維持管理を行うとともに迅速な復旧等によりスポーツ施設の快適な利用環境を整備 ・新たな利用者向けの情報発信を充実	—
■県の「未病を治すかながわ宣言」に賛同した取組	・公園の施設を活かした健康づくりに係るイベントを開催するとともに自治体主催の健康づくり事業に係る情報を発信	—

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
温水シャワー	新型コロナによる緊急事態宣言の発出にともないスポーツ施設の利用を休止したため、温水シャワーの利用回数が前年度よりも24%減少。
カレンダー事業	県立都市公園のPR

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症の影響等がある場合、対応状況も含めて、「実施状況等」欄に記載。

5. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
S	

	前々年度	前年度	令和2年度
利用者数※	271,394	290,732	322,062
対前年度比		107.1%	110.8%
目標値	255,000	274,400	284,200
目標達成率	106.4%	106.0%	113.3%

目標値の設定根拠： 事業計画書記載目標数値

利用者数の算出方法（対象）： 施設利用者数及び目視の計数より推計

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

【新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響と対応状況】 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)
①新型コロナウイルス感染症が利用状況に与えた影響 <p style="text-align: center;">—</p>
②令和2年度の対応状況 <p style="text-align: center;">—</p>

6. 利用者の満足度

評価	<<評価の目安>> 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施	本報告書では、県による休日3回、平日3回、イベント1回の計7回調査の結果を使用する。指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様に利用者から高い満足度を得ている。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的にみるといかがでしたか？
 実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 151 / 154 = 98.1%
 配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	118	29	1	2	1	151	
回答率	78.1%	19.2%	0.7%	1.3%	0.7%		
前年度の回答数	87	47	7	0	0	141	
前年度回答率	61.7%	33.3%	5.0%				
回答率の対前年度比	126.6%	57.6%	13.3%				

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

【新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響と対応状況】 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)
①新型コロナウイルス感染症が利用者満足度に与えた影響 —
②令和2年度の対応状況 —

7. 収支状況

評価	≪評価の目安≫ 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	84,526	0	1,347	自販機1,347	85,873	85,873	0	
	決算	84,526	0	2,003	自販機2,003	86,529	83,482	3,047	103.65%
前年度	当初予算	108,243	0	1,377	自販機1,377	109,620	109,620	0	
	決算	108,243	0	2,363	自販機2,363	110,606	102,608	7,998	107.80%
令和2年度	当初予算	138,413	0	1,377	自販機1,377	139,790	139,790	0	
	決算	138,413	0	4,635	自販機3,508 雇用調整助成金1,127	143,048	138,160	4,888	103.54%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数			(単位:千円)
令和2年度 /	前年度 /	前々年度 /	

<備考>

【新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響と対応状況】 (※新型コロナウイルス感染症の影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)
①新型コロナウイルス感染症が収支状況に与えた影響 <p style="text-align: center;">—</p>
②令和2年度の対応状況 <p style="text-align: center;">—</p>

8. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	口頭	0 件		
	電話	0 件		
職員対応	口頭	0 件		
	電話	0 件		
事業内容	口頭	0 件		
	電話	0 件		
その他	口頭	0 件	・スケートボード禁止や犬の散歩等に関するマナー違反者への対応	→トラブルが発生しないよう利用者マナー等に関する職員への指導を徹底
	メール	1 件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。